

KANSAI Univ. News

関西大学通信

2010年
2月1日
第372号

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.

■学生広報スタッフ企画

Enjoy! 関大生活

■CAMPUS TOPICS

祝 バンクーバー五輪出場! 高橋大輔さんと
織田信成さんの公開練習会ならびに壮行会を開催



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

壮行会でバンクーバー五輪での活躍を誓った高橋大輔さんと織田信成さん
(関連記事4面参照)

Enjoy! 関大生活

関大生はどんな一人暮らしをしているの？北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から集まる関大生のライフスタイルはさまざまです。

今回の学生広報スタッフ企画では、一人暮らしをしている学生やちょっと変わった生活をしている学生に学生広報スタッフが直撃インタビューを実施。千里山キャンパス周辺（吹田市）で暮らす学生と高槻市内で暮らす学生に、日常生活や大学での活動について語ってもらいました。

一人暮らしの関大生 106 人に答えてもらったアンケートでは、1ヵ月の家計やりくりが分かります。



大町 諒太郎さん

“男の一人暮らし”テクニク

大町諒太郎さん(情2)は、JR 高槻駅の近くで一人暮らしをしている。

出身は愛知県名古屋市、一人暮らしは2年目になる。“男の一人暮らし”ということになり料理について聞いてみると「鍋を使った料理をよくします。最近は冷しゃぶを作りました」と教えてくれた。普段あまり凝ったものは作らないそうだが、「ワンルームだと台所が狭いので、作った後の洗い物が結構大変なんです」とその理由を語る。また、洗濯物についても「取り込むタイミングに気をつけないと夜露にぬれて余計に手間がかかってしまうので、部屋干しをよくします」とのことであった。

通学はバスで高槻キャンパスへ。「待ち時間を含めると1時間くらいかかります。結構しんどいです」と少し苦笑をもらしたが、高槻市街に住むメリットは「店が多く買い物に苦労しないこと」だと話してくれた。

課外活動は、放送サークルに所属し日々番組作りに励む。「活動をするとということで何か予定が入るので、生活にリズムが生まれてきますね」と語ってくれた。先日は番組発表会を経験した。会場の技術を担当し緊張もあったが、チームワークで乗り越えた。

日々の生活でも大学で過ごす時間でも、一人暮らしを満喫しているのが目に見えて伝わってきた。

日々の生活でも大学で過ごす時間でも、一人暮らしを満喫しているのが目に見えて伝わってきた。

大町 諒太郎さん
(総合情報学部2年次生)

愛知県名古屋市出身



綺麗に整頓された大町さんの部屋



熊谷 明美さん
(法学部3年次生)

兵庫県神戸市出身

公務員試験にサークル、忙しくも楽しい毎日

公務員を目指す熊谷明美さん(法3)は、4月から始まった一人暮らしを満喫しながら、勉学にいそしんでいる。3年次生になりエクステンション・リードセンターやサークル、授業などで帰りが遅くなることに負担を感じ、悩んだ末に下宿を決意した。「自分で予定を自由に組めるのが下宿の良いところ。最近は下宿先から大学の図書館に気軽に出向いて、公務員試験のための勉強をしています。家では勉強に身が入らない性格なので、近くに勉強ができる環境がある今の暮らしが気に入っています」と熊谷さんは笑みを浮かべる。今後の目標は、毎朝早起きして図書館に新聞を読みに行き、時事問題に強くなることだそう。

熊谷さんは剣道サークルに所属しており、2年次生のときには勉強のかたわら主務の仕事をごなしていた。「飲み会やお菓子パーティー、誕生日会なども私の家でしました。やっぱり、もつべきものは仲間だと感じます」

部屋の様子を見せてもらうと、白と黒を基調としたシンプルなインテリアで明るい雰囲気が漂う。部屋のアクセントとなっているかわいらしいキャラクターの雑貨が熊谷さんの気さくな人柄を表しているかのようだ。

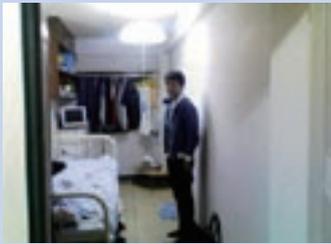


ひとめぼれして買ったカレンダー



インテリアは simple is best がモットー





吉川さんの部屋

吉川 元基さん
(政策創造学部2年次生)

京都府宇治市出身

家賃は激安! quality は最高! 節約奮闘生活

“21,000 円” みなさんは、この数字を見て何を思い浮かべるだろうか。実はこの数字、吉川さんの1カ月の家賃である。

「自立しないといけないと思い、仕送りなしでの下宿を決意しました」と笑顔で話してくれたのは吉川元基さん(政策2)である。

しかし、その生活は想像以上に大変だ。

吉川さんは、粉末を使って飲み物を作り市販のペットボトル飲料を買わないよう心掛けたり、電気代を1ヵ月680円で済ませるなど、徹底的に節約をしている。

このアパートには、学生はもちろん留学生や厳しい経済状況で暮らす人たちも入居している。「アパート内は綺麗とは言えないけど、さまざまな価値観を持っている人と話をしたり、友人になることができ楽しいです」と語ってくれた。

“21,000 円” のアパートに入居して7ヵ月。彼はこのような下宿生活をする中で、親の支援に対する感謝の気持ちを改めて感じたり、さまざまな考え方や価値観をもつ人たちと交流することで、人間的に一回り大きく成長したに違いない。彼の節約下宿生活は、きっと今後の人生の糧となるだろう。



落合 美規さん
(政策創造学部2年次生)

三重県亀山市出身

毎日片道3時間かけて電車通学

自宅通いで頑張る学生もいる。落合美規さん(政策2)は、毎日三重県亀山市から電車通学をしている。2府2県をまたぐ通学時間はなんと片道約3時間。「人と違ったことがしたいと思い、通学しています」将来の目標は新聞記者になることだと話し、通学の電車内では新聞を読んで過ごすのが日課になっているという。



愛用のキャリーバッグで大学にくることも

課外活動は、現在2つの団体に所属している。他大学の学生と一緒に国際問題を考える“模擬国連”と、雑誌を作るサークルに参加。「“模擬国連”は、京都で活動しています。高校時代からの友達も参加していて、週1回同窓会をしている雰囲気です」とクラスメートに会うことを楽しみにしているようだ。

俳句を詠むことが趣味の落合さん。コンテスト入賞の経験もあるそうで、気分を変えたいとき途中の駅で下車し、周りを散歩して一句ひねる。さまざまな街に行けるのも長距離通学がなせる技だ。この長時間通学で鍛えたタフさと多彩な経験を胸に将来の目標を達成してほしい。



一人暮らしの関大生対象・アンケート結果

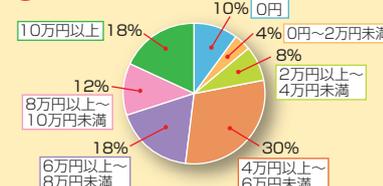
11月29日から12月5日の間、インフォメーションシステムで「一人暮らしアンケート」を実施した。回答してくれた学生数は106人だった。

仕送りに関する質問項目では、約9割の学生が仕送りを得ていることが分かった。また、アルバイトによる収入は、0円と答える学生が約3割を超え、やはり仕送りを頼りにしている学生が多いようだ。

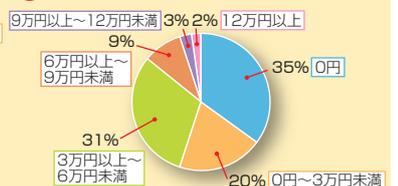
食費に関しては、約6割以上の学生が1ヵ月1万円から3万円と答えた。学食の利用やスーパーの特売日を把握して、食費を抑えている学生が多いことがこのデータから読み取れる。また、光熱費節約のためにさまざまな工夫を凝らしている姿がみえ、節約に対する徹底ぶりがうかがえた。

家賃は、一番回答数が多かったのが1ヵ月5万円から6万円で約4割を占めており、次に多かったのが6万円以上と、関大生が住む物件の家賃相場が分かる。しかし、下宿先の決定には騒音問題など近隣の環境調査も重要で、「安い・近い・綺麗」という安易な選択は良くないという意見も寄せられた。

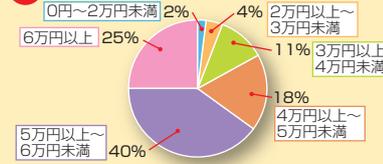
Q1 1ヵ月の仕送りはいくらですか?



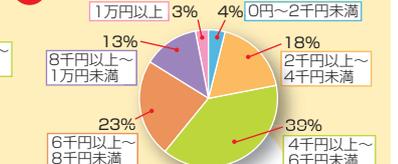
Q2 1ヵ月のアルバイト代はいくらですか?



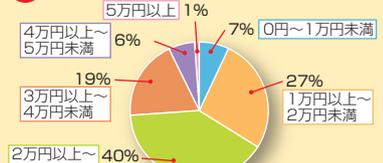
Q3 1ヵ月の家賃はいくらですか?



Q4 1ヵ月の光熱費はいくらですか?



Q5 1ヵ月の食費はいくらですか?



CAMPUS TOPICS

ハーバード燕京図書館長来学特別講演会を開催

11月25日、関西大学図書館と文化交渉学教育研究拠点が共催し、ハーバード燕京図書館長来学特別講演会を開催した。

ハーバード燕京図書館と本学図書館は、文化交渉学教育研究拠点が中心となって国際学会「東アジア文化交渉学会」を創設した際に、学术交流協定を締結した。この講演会は、両図書館の今後の協力関係を一層深めていくための一環として開催された。

ハーバード燕京図書館は、ハーバード大学にある73の図書館の内3番目の規

模で、東アジアに関する中国語、日本語、朝鮮語および西洋語人文社会科学関係の書籍約120万冊を所蔵し、1万6千以上の定期刊行物を収集している。



講演するジェームズ・チェンハーバード燕京図書館長

ハノイ工科大学との学術協力および交流に関する協定を締結

本学とベトナム・ハノイ工科大学は、大学全体での学術協力および国際交流計画に基づき相互協力を行うことで合意し、昨年11月25日に基本協定を締結した。

今後は、それぞれの大学における研究・教育の推進および研究者・学生、学術情報・資料の交換などの具体的プログラムを検討する。

高橋大輔さんと織田信成さんの公開練習会ならびに壮行会を開催

1月12日、バンクーバー五輪に出場する高橋大輔さんと織田信成さんがアイスアリーナで公開練習を行った。この公開練習で、公募した高槻市民と一般市民あわせて約500人も参加し、両選手は五輪での活躍をあらためて宣言した。

引き続き、千里山キャンパスにおいて、両選手の壮行会が開催された。学長・理事長ならびに関係者の出席のもと、両選手から五輪出場に向けた決意が披露され、62季ぶりに甲子園ボウルで優勝したアメリカンフットボール部員からエールが送られた。



アメリカンフットボール部員に抱きかかえられる高橋さんと織田さん

三大学医工薬連環科学教育研究機構が高槻家族講座「プリン・ぶるるん・水ようかん」を開催

12月12日、関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学「医工薬連環科学教育研究機構」が大阪薬科大学で高槻家族講座を開催した。

第1部では、株式会社タニチ代表取締役の川畑孝彦氏が「寒天のお話」をテーマに、第2部では、大阪医科大学の出口寛文教授が「ツルツル・

ブルブルのどごし 爽やかーえん下障害を救うー」をテーマに講演した。また、こども体験コーナーでは株式会社タニチの協力を得て「寒天の使い方、寒天を使った水ようかん・ゼリーの作り方」を実施し、高槻市民をはじめとする多くの家族連れでにぎわった。



「天突き」で寒天からところてんを作る参加者



こども体験コーナーでゼリーを作る小学生

政策創造学部のゼミ生が「1型糖尿病の子どもたちのクリスマスパーティー」を開催

12月13日、1型糖尿病を患っている子どもたちを元気づけようと、政策創造学部のゼミ生が大阪医科大学附属病院にて行われた「1型糖尿病患者家族会のクリスマス会」を企画した。この会は、同じ病気を患った本学卒業生で阪神タイガースの岩田稔投手を招いて行われるもので、岩田投手の登壇に、子ども

たちは目を輝かせていた。クリスマス会では、岩田投手とゼミ生も参加して、子どもたちと一緒にゲームを楽しんだ。会場の外には、手作りのクリスマスカードが多数飾られ、岩田投手からも「元気になって甲子園球場に来てください」というメッセージが子どもたちへ送られた。

一口メモ

1型糖尿病とは…

膵臓のβ細胞というインスリンをつくる細胞が破壊され、からだの中のインスリンの量が絶対的に足りなくなって起こる。子供のうちに始まることが多く、以前は小児糖尿病とか、インスリン依存型糖尿病と呼ばれていた。

(厚生労働省ウェブサイトより)

(学生広報スタッフ)



クリスマスパーティーの様子

KUカレンダー2/01-15

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
1日(月)	一般入学試験・大学入試センター試験を利用する入学試験(～8日)	—	入試センター
14日(日)	第35回飛鳥史学文学講座	学生・教職員・一般	教育後援会

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。